



## アライアンス提携行による外貨建てシンジケートローンの組成について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年12月12日（水）、「TSUBASAアライアンス」<sup>※1</sup>及び「千葉・武蔵野アライアンス」<sup>※2</sup>の枠組みを活用し、それぞれの提携行が参加して、初となる外国法人に対する外貨建てシンジケートローンを組成しました。

貸出先の Knutsen NYK Offshore Tankers AS（クヌッツェン・エヌワイケー・オフショア・タンカーズ）は、ノルウェーにある日本郵船株式会社（代表取締役社長 内藤 忠頭）の関連会社で、シャトルタンカー事業<sup>※3</sup>をグローバルに展開しています。

同社の事業が拡大するなかで、機動的な資金調達枠を確保し、調達先の多様化も図りたいというニーズに対し、当行がアレンジャーとなり、両アライアンスを活用して新規行を中心とするシンジケート団を結成しました。

本シンジケートローン及び貸出先の概要は下記のとおりです。

### 記

#### 【シンジケートローン概要】

アレンジャー	千葉銀行
参加行	千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、武蔵野銀行
契約締結日	2018年12月12日（水）
組成総額	45百万米ドル
貸出形態	コミットメントライン

#### 【貸出先 Knutsen NYK Offshore Tankers AS の概要】

所在地	ノルウェー ハウゲスン
業種	シャトルタンカー運航
設立年月	2010年2月

当行は、今後も、お客さまへの価値ある商品・サービスの提供のため、戦略的アライアンスを推進してまいります。

- ※1 千葉銀行・第四銀行・中国銀行・伊予銀行・東邦銀行・北洋銀行・北越銀行の7行が参加する地銀広域連携。
- ※2 武蔵野銀行との包括提携。
- ※3 海底油田上にある石油生産・貯蔵・積出施設等から海上に停泊したまま油を積み込み、陸上の石油貯蔵基地または石油精製基地までの輸送に従事するタンカーを運航する事業。

以上